

「復興・再生支援ネットワーク」の構築について

1. 趣旨

東日本大震災の発生以来、筑波大学は、被災地域の復興・再生に向けた様々な支援活動に取り組んでいるところですが、この度、これらの活動に一層全学的かつ組織的に取り組む体制を構築し、復興・再生支援活動の効果的かつ円滑な実施を図ることを目的として、「復興・再生支援ネットワーク」を構築することとしました。

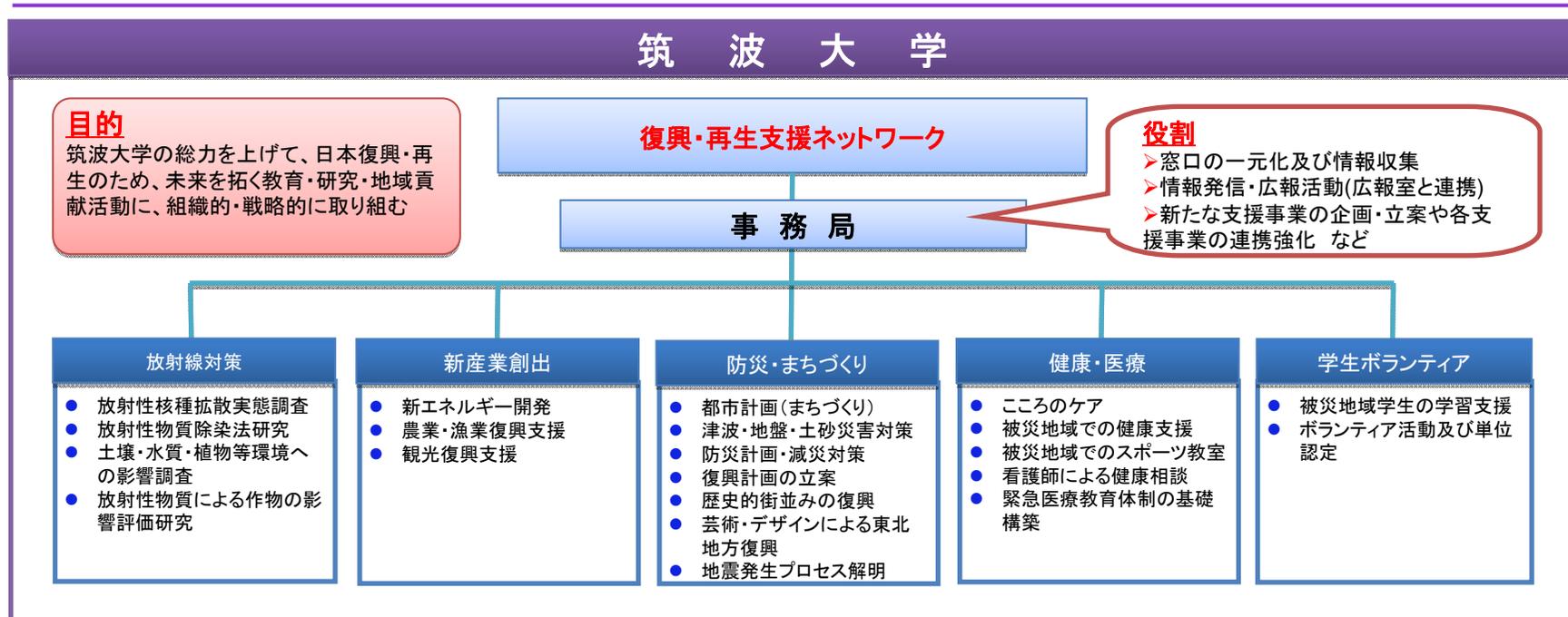
2. 役割

- (1) 復興・再生支援活動に係る連絡調整並びに情報の収集及び共有
- (2) 復興・再生支援活動に係る情報発信及び広報活動
- (3) 復興・再生支援活動に係る事業の企画立案
- (4) 復興・再生支援活動相互の連携及び学外の関係機関との連携
- (5) その他復興・再生支援活動に関し必要な事項

3. 支援活動

- (1) 復興・再生支援活動には、様々な側面から取り組む必要があります。筑波大学では、「健康・医療」「放射線対策」「防災・まちづくり」など、本学の持つ幅広い学問分野を活かした支援活動に取り組んでおり、「復興・再生支援ネットワーク」の構築により、これらの活動の一層の充実を図ります。
- (2) 復興・再生支援を行うにあたっては、関係自治体との連携・協力の下、被災地の状況を踏まえて、地域の実情に即した活動を行っていくことが重要です。このため、筑波大学と関係自治体との協議の下、震災復興に関する連携協定の締結を進めています。
 - ・平成 23 年 8 月 10 日 福島県いわき市
 - ・平成 23 年 11 月 21 日 茨城県潮来市
 - ・今後予定 福島県伊達市、茨城県神栖市、茨城県北茨城市 ほか

復興・再生支援ネットワーク



国・地方自治体 など